

石炭調査に關する質問主意書

右の質問主意書を國會法第七十四條によつて提出する。

昭和二十四年三月二十三日

小林米三郎

参議院議長 松平恒雄殿

石炭調査に關する質問主意書

日本經濟再建のための基礎たる石炭鑛業の果すべき役割は極めて重大であるが、これが融資の問題、損益計算の問題等に関し左記の通り具体的に所見を伺いたい。

一 炭鑛經理の問題

一 戦後政府は復金を通じ如何なる融資をしたか。

イ、各炭鑛別にどうなっているか

ロ、用途別にどうなっているか

ハ、地区別にどうなっているか

ニ、特に北海道の炭鑛その各社別用途別はどうなっているか（三井、三菱、井華、明治等の全國に鑛山を持つものの北海道との關係を明確にすること）

二 損益計算の問題

イ、現行單價算出の基礎

ロ、現行單價決定の際における炭鑛側の希望炭價とその算出の基礎

ハ、炭鑛側の希望炭價を不可とする根拠（資材及賃銀單價への意見）

ニ、補給金

ホ、炭鑛側の現に主張している赤字採炭（例噸当り二百円）の当否

へ、最近炭鉱側の希望する改訂炭價とその算出基礎
ト、經理全般を通じて見た運営上についての意見